

拉致問題は大きな人権問題

北朝鮮に拉致された疑いがある特定失踪者が山梨県内にもいらっしゃいます。先日、後藤知事に問題解決に向けた協力を要請したという新聞記事がありました。親族は、特定失踪者家族会の一員として、北朝鮮指導部メンバーの責任追及を求める申立書を国際刑事裁判所 (ICC、オランダ・ハーグ) に提出したことを報告し、ICCに提出した失踪者リストを後藤知事に手渡し、警察と連携した状況把握を求めるとともに、特定失踪者問題調査会が運営する北朝鮮向けラジオ放送「しおかぜ」に流すメッセージを要請したとあります。後藤知事は「拉致問題は許し難い行為。解決に向け、できる限りの支援をしたい」とコメントしました。

拉致問題は大きな人権問題です。国連人権理事会において北朝鮮人権状況決議が採択されており、北朝鮮の人権問題を担当する国連のキンタナ特別報告者が、北朝鮮政府に対し、日本人などの拉致問題について即時調査実施を行うよう先日勧告しました。政府や国連が拉致問題解決に向けた活動を継続して行っていますが、私たちも当事者意識を持ち、許すことができない人権問題として関心を持つ必要があります。関心を持つことで考え思い、それは行動へとつながります。私たちひとり一人の力は小さいかもしれませんが、集まれば大きな力になっていきます。拉致問題の全面解決を願うばかりです。

2017年度活動報告 (2017年4月～2018年3月)



人権啓発講演会&音楽会2017

8月8日に、甲斐市双葉ふれあい文化館にて、森島吉美氏 (広島修道大学教授)、ディエゴ・ヤスカレービッチ氏 (世界的チャルango奏者) を招き、一人でも多くの方に人間の基本となる人権意識に気がついてもらうための人権啓発講演会&音楽会を開催しました。

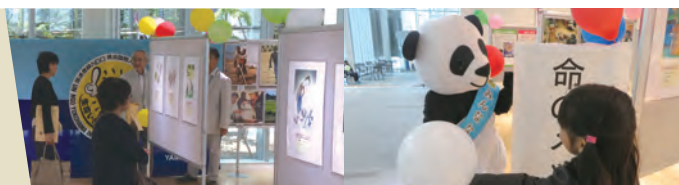


人権移動教室

甲府市、甲斐市の小中学校にて人権移動教室を開催。子どもたちに、命の大切さや思いやりを伝え、人権について知ってもらう授業を、10校で開催しました。

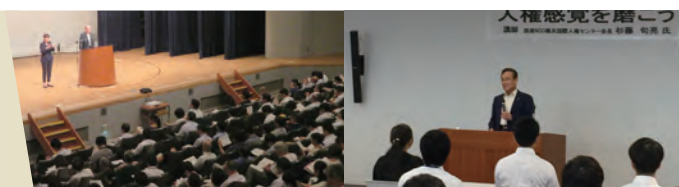
人権啓発パネル展

甲府市、甲斐市、韮崎市、昭和町にて、児童たちの感想文、著名人の人権メッセージ、国連WFPの活動紹介などを展示し、命の大切さを考える人権啓発パネル展を15回開催しました。



人権啓発講演会・人権啓発映画鑑賞会

甲府市、甲斐市にて6回の人権啓発講演会を実施。神奈川県での人権啓発講演会「歴史から人権を考える」においては山梨での活動内容紹介を行いました。また、人権啓発映画鑑賞会を2回開催しました。



新宿区からの視察団を迎えて

6月12日、東京都新宿区・民生委員の方々25名が甲府市役所に来庁、国連NGO横浜国際人権センター山梨ブランチャの活動及び甲府市における人権啓発の取り組みや対応について意見交換等を行いました。



行政との連携

山梨県、甲府市、甲斐市、韮崎市、昭和町など、多くの行政機関と意見交換を継続して実施。市民ファーストで老若男女が笑顔で安心して暮らせる社会の実現を目指し、協働・連携して人権問題に取り組みました。

＜お詫びと訂正＞

先月号「活動報告・人権啓発パネル展」の記事部分にて、「命のメッセージ展」と誤字がありました。正しくは「命のメッセージ展」となります。ここに訂正させていただきます。



国連 NGO 横浜国際人権センター山梨ブランチャ 代表：横山隆史

〒400-0031 山梨県甲府市上町 601-4 甲府市環境センター内 なでしこ工房 1 階事務室

TEL. 055-243-8563 FAX. 055-243-8564 <http://yamanashi.yihrc.or.jp/> E-mail. yamanashi@yihrc.or.jp